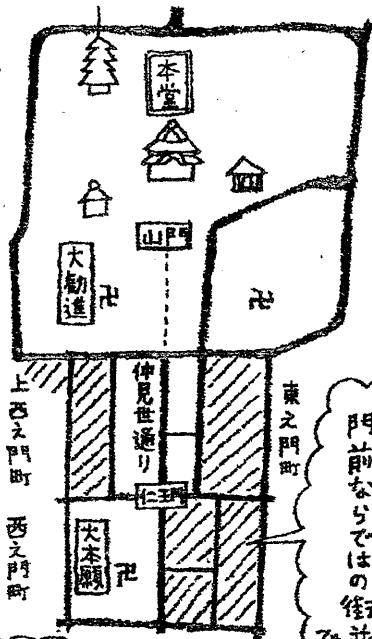
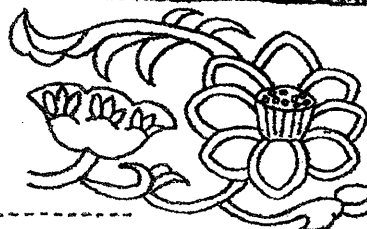


宿坊のご案内

宿坊って何？

善光寺には39の宿坊があります。

それぞれの宿坊にはご本尊があり、住職がいます。住職は善光寺におつとめすると同時に宿坊をまもり、参拝に訪れた人々を迎え、お世話をしています。



こんな風になっています。善光寺と宿坊の図

本堂の南側、39の宿坊があります。門前ならではの街並みです。

豆知識 仲見世通り宿坊も善光寺の境内の一部なのです。

宿泊

かつては泊まってお参りするのが普通だったという善光寺。泊まって次の日の朝早く、

お朝事に行く。善光寺の空気をゆっくり感じながらの参拝はありがたさがちがいます。

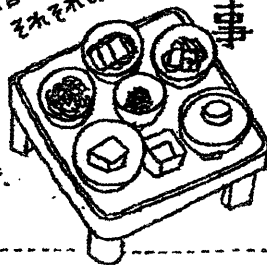


参拝



精進料理 宿坊料理 それぞれ味

食事



僧侶、宿の主人、ガイド 一人で何役もこなす 住職



よく知られていました。



宿坊とは一言で言えば「お寺」。

善光寺のまわりにはいっぱいあって、住職がいて、みんなでたいてい善光寺を守ってる、というかんじです。宿坊によって歴史もそれぞれ違います。

毎日の朝事

季節によってお朝事がはじまる時間は変わります。夏は最も早く朝5:30〜、冬は最も遅く7:00〜はじまります。最初に天台宗、次に浄土宗の僧侶による法要が行われます。

お数珠頂戴

お朝事の前後、お導師であるお僧主さま、お上人さまが本堂へののぼりおりの際にお数珠で互いをなでくれます。みぎまぎいてその功德を授かります。



善光寺は朝もつとも美しい時間

大勸進 (25の院)

天台宗 お僧主さま

浄土宗

大本願 (4の坊)

お上人さま

通に歩近づく！善光寺の常識

宿坊には「院」と「坊」があります。

善光寺は無宗派ですが、境内にある天台宗の「大勸進」、浄土宗の「大本願」、この二つのお寺にまもられており、院は大勸進、坊は大本願にお任せします。

進大勸進

案内所 ↑ 本堂

土成山公園へ

馬可返り本橋通り



江戸時代、善光寺を中心に築えた町を「善光寺町」と言いました。十数々の町がありました。



※()内は本尊名

古い建物が多く残る宿坊の通り。古き良き街並みを見てみませんか。

◎地図に関するお問い合わせ
善光寺事務局
 TEL 026・234・3591
<http://www.zenkōji.jp/>

◎宿坊・宿日にに関するお問い合わせ
善光寺宿坊組合
 TEL 026・237・7676

◎発行：善光寺(2015年9月再版)
 制作：ナグラフィカ

法然通りと羅漢小路

法然が泊まったと伝わる、法然堂がある。法然通り、宿坊の生活感が漂う細道。羅漢小路は、善光寺七小路のひとつに数えられています。

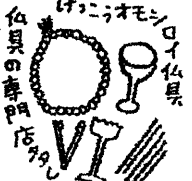
「念ずれば花はかくのおじをうさま。羅漢小路から大本願の方へ歩くとちよと見える」



「年に一度は善光寺参り」宿坊には全国各地から参拝者がやってきました。講という、今で言うウツアーのようなものを組んで何十年も続け、てくる人や、年に一度はお参りしないけど、きりしないとお参りに来る人もいます。

ただのみやげ屋地帯じゃない!

「仲見世通り」仲見世の人々は善光寺の行幸のお手伝いをしたり、参道のそばを歩いたり、とくに雪かきのチームはみごとです。



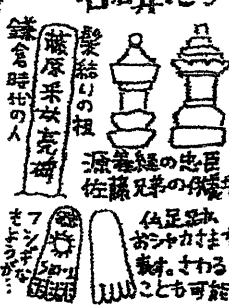
千鳥ヶ池広場

信州 善光寺 境内絵巻 参拜

宗派を超えて老若男女すべての人を受け入れてくれる心の広い善光寺。境内にはその心が溢り溢りしています。

祈ることはもちろん、花を眺めたり、心をやすめたり、歴史をたどったり...気軽に歩いてみませんか。

物語伝る 石碑たち



水と石と 静けさ... 北東地帯の知られざる庭園

松林の中には池があり、そのまわりには季節の草花とベンチ時々水鳥があとずめます。

いろいろベンチあり



女性への解説を讀むべし!

365日、鐘が鳴る

善光寺では毎日午前10時から午後3時まで、鐘が鳴ります(夏は4時まで)。鐘をつくのは本堂に交けでつめている堂番といふ職司さん。鐘の音は近所の町まで聞こえます。門前町の風情ある日常の音として来見されています。



正野オリン博士の研究会を立ち上げた鐘でもあります。

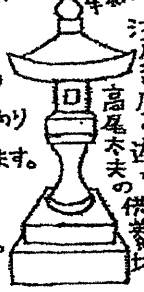
本堂のまわりは 火のうぎゃラリー

境内には石灯籠がいたるところにあります。特に本堂のまわりにズラリと並んでいます。ひとつひとつ見比べるとまたの楽しいです。



人の姿に身を委ねて、善光寺にお参りして、むねなのお祈りが伝わる。

三浦屋 四郎左衛門が奉納



江戸吉原の遊女高尾太夫の供養塔



一茶、漱石などの文人の句碑が4基
季節の花を題材のなから水に池でいそいで休むことができます。6月は木ウツギも出現!

東庭園でみられる花
ユキナギ (3~4月)
ツツジ (5~6月)
ヤマメ (5月)ほか
お線香をお供え 100円

「ぬい化」(延命地蔵)
江戸の大木を出したと言われる八百屋お七。霊をなやませたものと伝わっています。

六地藏さんがお出迎え。送りも苦しみから求めてくれるおじょうさま。

お七さま、お七さまが並びます
地蔵さまのおじょうさまは、一歩も早くお参りに行こうと、片足を庭先に出している様子。



仲見世通り



かるかや堂は
童話『焼け小焼け
のモチ』となった
お寺。かつては
善光寺とセットで
お参りする人も
多かったが。

温福神社
かるかや堂へ

戦争でなくなった
240万の瓦を
示している

WC
P

雲上殿へ
千鳥ヶ池広場
WC

**新発見!
お墓でピースル。**

本堂の北側には
お墓地帯。無縁仏
から善光寺のご住職
たちのお墓までが
並んでいます。
お墓って暗い
イメージもありますが
ここには平和な空気
があり、不思議とやさ
かな気持ちになります。

往生寺
かるかや堂への
道しるべ的の石球
見送って
くれているよ

お4 P
お5 P
WC

**境内のお庭は
づくりの植物園**



**かつて境内には
ホンモノの牛がいた。**

昭和26年~43年のおよそ17年
間、境内にはなんとホンモノの
牛が飼われていて、参拝者を
和ませていたとのこと。インド
からやって来て、くた後には
雲上殿にまつられ
ています。

牛に引かれて
善光寺へ
参拝する
善光寺の牛の銅像
忠霊殿近くの小道にも
牛の像があります。お参り
してみてください。

親縁鳥聖人が
命で彫った阿弥陀
さまが
おられます。
お参りができます。

御開帳が
終わると
ここに集められ
ます。
短くなっている
のは土に埋まっている部分
が切れているため。歴代の結
全てに変わります。

大勧進の内部...
実はおもしろい!!
五色のふきながし
ほかにもアゲンギルどな
聖徳太子像、びんずる様、
本格護摩堂など
お参りください。

1197年、源頼朝がお参りした時
に、のっていた馬のひづめがひかか
り、ここからは歩いて参拝した、と
伝わる場所。

中心霊殿
お参り
お墓

大勧進
お参り
お墓

山門
お参り
お墓

安楽内所
お参り
お墓

心洗
お参り
お墓

御開帳
お参り
お墓

大勧進
お参り
お墓

馬廻り橋
お参り
お墓

仲見世通り
お参り
お墓

送子郵便
供養塔

大本願の
お参り
お墓

徳川家大御
お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

お参り
お墓

高木
538
cm

六地藏さん
お参り
お墓

お参り
お墓